

武漢事務所週刊ニュース(2015年5月9日～16日)

華為会社が武漢で中部地域最大の研究開発拠点を建設

5月9日 長江日報

IT 通信大手企業「華為会社」は武漢未来科技城に開設した武漢研究所を初めて開放し、5G 移動システム、スマートフォン、企業用インテリジェント端末システムなどの研究開発技術を公開した。同社のスマートフォン生産ラインの担当者である何剛総裁が、「同社の8大の研究センターの1つとして、武漢市は中部地域で最大規模である」と話した。

沌口鳳凰工業園区、年間生産高は1000億元(約2兆円 1元=20円で計算 以下同様)を突破

5月9日 長江ネット

昨日、投資額が50億元(約1000億円)になる金発科技華中新材料園区プロジェクトは武漢經濟開發区鳳凰工業園区で着工した。2012年からこれまでに、同工業園区で着工したプロジェクトはおよそ36項目で、投資総額は500億元(約1兆円)以上となる。すべての

プロジェクトが稼働すると、年間生産高は 1000 億元(約 2 兆円)を突破し、納税金額は 100 億元(約 2000 億円)を超える見込み。

金発科技会社は国内変性プラスチックとして国内で最大規模である。同社は高性能新材料の研究開発及び生産販売を行っており、製品は主に自動車、電子機器、航空航天などの分野で使われる。同社は 50 億元(約 100 億円)を投資し、鳳凰工業園區で華中新材料園區を建設した。第一工事は年末までに完成する見込み。2018 年に稼働開始する予定で、年間生産量は 52 万トンになり、生産高は 150 億元(約 3000 億円)を突破すると予想される。